

党市議団が市民のみなさんにお願いした市民アンケートに565通の返信をいただきました。ありがとうございます。アンケートには、暮らし向きが悪くなったという声が65%に上りました。その原因として国保税などの増税が一番多いのです。日本共産党市議団は、毎回の議会で国保税の引き下げを主張してきました。市民の一番の要求なのに、市議会で国保税の引き下げを求めてきたのは日本共産党だけです。

アンケートには「国保税が高いのに驚き別府に來たことを後悔した」「国保税を払うと食費も残らない。延滞金ばかりが増えて働く意味がない。死んでしまいたい心境です」という痛切な声もありました。課税所得200万の二人世帯で年間40万円近い国保税になります。

なぜこれほど重い負担になってしまったのか。国が負担を減らしたことがそもそもの原因ですが、別府の国保税が全国トップクラスの高さになったのは、2008年3月市議会で国保税の4割5割の値上げが強行されたからです。この議会で日本共産党市議団は、質疑・委員会・討論などで負担が重くなり過ぎることを主張し、大幅値上げに反対しました。反対したのは共産党3名を含む4人だけ。反対だけでなく、共産党市議団は、3人いることで得られる議案提案権を使い、負担を軽くするための修正提案もしました。しかし、共産党以外の議員は、この修正案に意見も述べずに反対し否決。市長が提案した大幅値上げに、共産党以外誰一人として質問もなく理由も述べずに、黙って賛成し、大幅値上げを強行してしまったのです。

これほど市民の生活に大きな影響を与える議案に賛成するなら、公の議会で質問をして内容を明らかにし、理由を述べて賛成するのが議員としての責任ではないでしょうか。黙って賛成、これでは議会のチェック機能は果たせないのではないのでしょうか。

この値上げの後も日本共産党はみなさんと一緒に署名活動を行い、議会で毎回引き下げを求め、1年後ひとり平均6000円の引き下げを実現することができました。しかし、まだまだ高すぎます。更なる引き下げもとめて、全力でがんばっています。

国保税の負担を抑えるため、市が支援する制度があります。しかし、別府市はこの支援金を長年出してきませんでした。一般会計から国保の特別会計に繰り入れを増やすよう、くり返し私たちが求めたことで、昨年度3000万繰り入れを増やし、ひとり平均6000円の引き下げができました。

長年入れてこなかったこの支援金、10年分だけでも9億円にのぼることがわかりました。大幅値上げをしたときに9億2000万円の赤字があったことが値上げの大きな要因でした。毎年支援金を繰り入れていたら、この赤字はでなかった、大幅値上げの必要はなかったということではありませんか。

国保税引き下げの財源は十分あります。なんにでも使える財政調整基金が60億あることが平野議員団長の質問でわかりました。この基金をつかって国保税引き下げを実現させましょう。

市政の問題を市民の皆さんにお知らせし、チェック機能をしっかり果たす、市民の声を届け願いを実現する、そのために日本共産党の市議3議席と別府の県議の議席がどうしても必要です。全力でがんばります。みなさんの大きなご支援をよろしくお願いします。